

Ayako Mori



発行：福岡市議会議員 森あやこ



No.38

2025年 冬・春号

P.1 PFASなど有害な化学物質について

P.2  盛土等による災害から国民を守る
 福岡空港にもオスプレイが飛来

P.3 食べものから学ぶ～ 勉強会開催

P.4  第36回 干潟まつりに参加しました
 次世代につなぐ環境問題勉強会

2025年「住んでるまちを住み続けられるまちに！」乙巳は、努力を重ね、物事を安定させていく年。
一人ひとりが大切にされ、その人がその人らしい生き方ができるまちづくりを進めます。

子どもや若者が将来に夢や希望を大きく持てる社会、失敗しても何度でもチャレンジできる社会をつくるのは大人の役割、政治の責任です。国民主権であることをこれからも訴えていきます！



PFAS(ピーファス)などの有害な化学物質について

12月 一般質問

世界各国では有害化学物質についての厳しい水質基準や規制が設けられていますが、日本は暫定目標値はあるものの、規制などの法的な義務づけはまだありません。全国各地の水道水調査では、値を超える濃度が検出される地域が続出しており、血液検査でもPFASが検出されるなど、人体への影響も強く指摘されています。特に自衛隊や米軍基地周辺等では、高濃度の値が検出されています。そこで本市でのPFASなどの有害化学物質への考えと、汚染の実態調査等について質問しました。

- 水道水における日本の暫定目標値と、EU や米国との基準の違い。
▶日本 50 ng/L。(デンマーク 2ng/L 米国 4ng/L。)
- PFAS を含有した「泡消火剤」設備について、市の認識と把握状況。
▶市内にある民間の駐車場等に設置された泡消火剤使用の設備箇所数など把握していない。
- 受け身の姿勢でなく独自調査をしっかりと、市民に分かるように公表することを求めました。
- プロピレングリコール（医薬品・日用品・食品添加物）の毒性と規制についても併せて質問しました。

PFAS等の有害化学物質は、今やさまざまな暮らしの中の製品に使われており、生活水の汚染だけでなく、海や土等の環境中に蓄積し、魚介類や農作物でも検出されています。

私たちも身の回りで使われている PFAS

参考資料：ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議



いつも使っているスマホ



油がしみない包装紙



崩れにくい化粧品



こびりつかない
フレイバー

ピーファス PFASとは

有機フッ素化合物の一種で、1万種類以上の物質の総称。自然分解されにくく、体内蓄積されやすい「永遠の化学物質」と呼ばれる。

発がん、出産への悪影響など健康リスクが指摘されており、生活水、魚介類、食品等に汚染が広がっていることが問題視されている。諸外国と比較すると日本の目標値はとても緩い。

NHK ニュースでの報道
(2024年12月24日)

